JVC

取扱説明書

DVDポータブルシステム

型名 **NX-PB15V-B**
NX-PB15V-W

イラストはNX-PB15V-Bです。

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/

※ JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

LVT2191-001B

本書の見かた

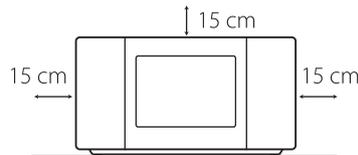
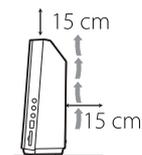
- 本書では、**主にリモコンのボタンを使って**操作説明をしています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- [ ]内の文字はボタン名を表しています。
  例)[メニュー] → メニューボタン
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」、「グループ」と「フォルダ」は同じ意味で使っています。

本機のご使用上の注意

- 本機を移動するときは、ディスプレイパネルが開かないよう、手で押さえてください。ディスプレイパネルが開いたままで本機を運ばないでください。
- 本機を移動するときは、必ずiPod、ディスク、USB機器、SDカードを取りはずしてから電源コードを抜いてください。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

転倒防止バーを使う

本機底面にある転倒防止バーを回転させてからお使いください。

もくじ

- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、米国などの特許等や、Rovi社の所有するそのほかの知的財産権によって保護されています。改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi社またはその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- DIVXビデオについて: DivX®は、DivX, LLC, Rovi社の子会社が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
- DIVXビデオオンデマンドについて: DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
- SDHCロゴは商標です。

すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

- ビデオコード（1個）
- リモコン RM-SNXPB15V（1個）
- リチウム電池 CR2025（1個）
  （出荷時にリモコンの中に入っています）

FMアンテナの準備

FMアンテナを最も受信状態の良い位置と方向に伸ばしてください。

- 本機やアンテナを窓際に設置すると、受信感度が良くなり、受信状態が改善される場合があります。

- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

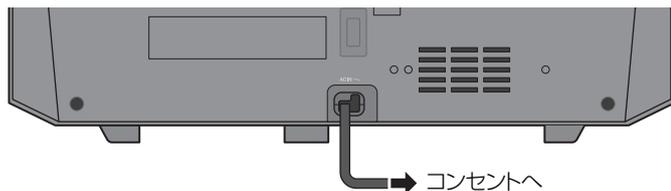
テレビの接続（テレビで画像/映像を見る場合のみ）

iPodやDVD·CD/USB機器/SDカードの画像/映像を、接続したテレビやモニターで見ることができます。付属のビデオコードを使用して、テレビのビデオ入力端子と本機のVIDEO OUT端子を接続します。

- ソース（音源）が「FM」または「AUDIO IN」のときは、VIDEO OUT端子からは信号は出力されません。また、LCDセット、時計、タイマーの設定画面なども外部モニターには表示されません。
- iPodの静止画は、本体モニターやテレビには表示されません。
- テレビに出力される画像のアスペクト（縦·横）比を変更するには、**20**ページをご覧ください。

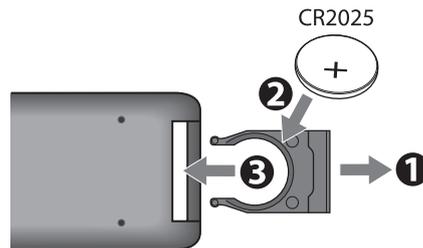
- 本機はテレビなどと直接接続してください。ビデオデッキやHDD/DVDレコーダーなどを経由して接続すると、再生画像が乱れることがあります。ビデオデッキ内蔵テレビと接続したときも、再生画像が乱れることがあります。
- ブラウン管テレビをお使いの場合:本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。ブラウン管テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

電源コードの接続

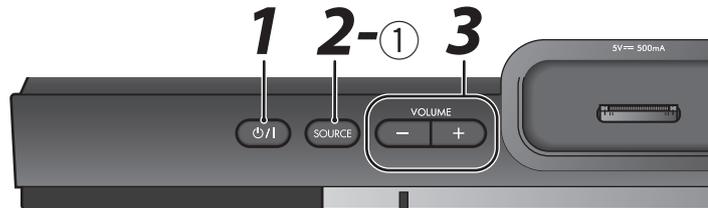
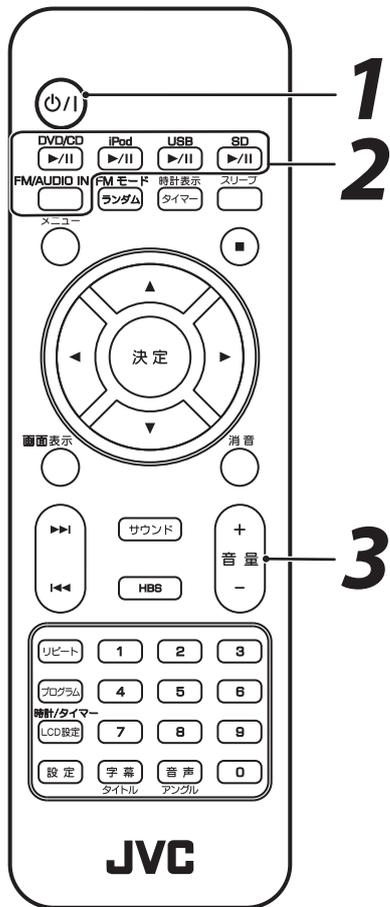
すべての接続が終わったら電源コードを接続します。

初めて本機をお使いになるときは、時計の設定を行なってください。(9ページ)

リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池の交換方法:

ご注意:

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みのうえ、正しくお取り扱いください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

基本操作

1 電源を入れる

- リモコンの各ソースの再生([▶/II])ボタンを押すと、選択したソース(音源)で電源が入ります。

2 ソース(音源)を選ぶ

- **リモコン:** 各ソースの再生([▶/II])ボタンを押します。
  「FM」と「AUIDO IN」を選ぶときは、**[FM/AUDIO IN]**を押します。押すたびに、「FM」と「AUDIO IN」が交互に切り換わります。
- **本体: [SOURCE]**を押します。押すたびに、ソース(音源)が切り換わります。決定するには、**[▶/II]**を押します。(詳しくは、「ソース(音源)を選ぶ」(**8**ページ)をご覧ください。
- **[◀] [▶]→[決定]**(本体は**[〈] [〉]→[ENTER]**)でもソース(音源)を選ぶことができます。

3 音量を調節する

- 音量は「0」から「32」まで調節できます。

- 電源を切るには、**[⏻/I]**を押します。STANDBYランプが点灯します。
- リモコンを使用するときは、リモコン受光部に向けて操作してください。

数字ボタンの使い方

入力例	ボタン操作
5	5 (▶ [決定])
15	1 ▶ 5 (▶ [決定])
125	1 ▶ 2 ▶ 5

2-②

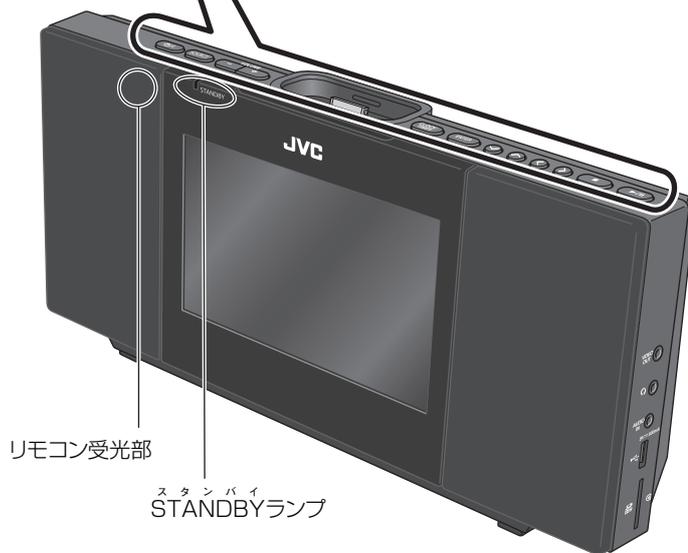
リモコン受光部

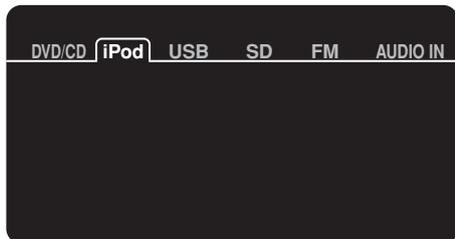
STANDBY(スタンバイ)ランプ

極端に音量を上げた状態で電源を切らないでください。

一時的に消音する

消音

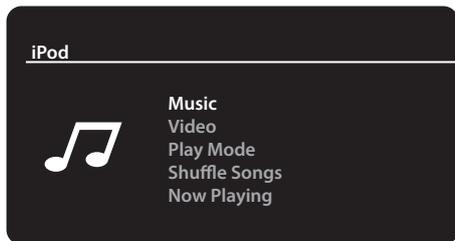
- もう一度押すと元の音量にもどります。

ソース（音源）を選ぶ（本体操作）

電源を入れると本体モニターにソース選択画面（ホーム画面）が表示されます。

※ソース（音源）がiPodのときの表示です。

1 [SOURCE]をくり返し押し、ソース（音源）を選ぶ

押すたびにタブ選択が右に移動します。

2 [▶/II]を押し、決定する

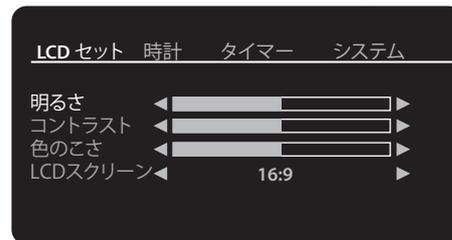
再生が始まります。

- 各ソース画面からソース選択画面（ホーム画面）にもどるには、[SOURCE]を一度押します。

本体モニターの設定

[LCD設定]を押すと、本体モニターや、時計/タイマーの設定ができます。本体モニターに表示される画面を見ながら操作します。

1 モニター設定画面を表示する

時計/タイマー LCD設定 「LCD セット」

2 調節する項目を選ぶ

選ばれた項目が青くなります。

3 数値を調節する

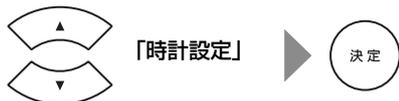
- 調節バーや設定値が黄色くなります。

- 「LCDスクリーン」は画面アスペクト（縦・横）比（16:9/4:3）を変更します。
- 再生画面にもどるには[LCD設定]またはリモコンの各ソース（音源）ボタン、ホーム画面にもどるには本体の[SOURCE]を押します。
- [LCD設定]を押し、「システム」、「設定初期化」、「実行」を選ぶと、本体モニターや時計/タイマーの設定を初期値にもどします。

時計を合わせる

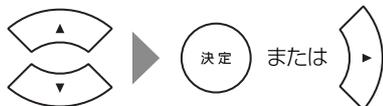
1 時計設定画面を表示する

「時計」

2 「時計設定」を選ぶ

選ばれた項目が青くなります。

3 「AM」「PM」を選ぶ

選択した部分が黄色になります。

決 定 または

- 「時間表示形式」を「24H」にしている場合、「AM」「PM」は表示されません。手順4に進んでください。

4 「時」「分」の値を設定する

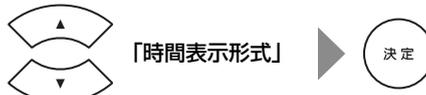
この手順をくり返します。

5 最後の桁の「分」の値を設定し確定する

設定後、再生画面にもどるには**[LCD設定]**またはリモコンの各ソース（音源）ボタン、ホーム画面にもどるには本体の**[SOURCE]**を押します。

- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時刻を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源プラグを抜いたり、停電で電源が切れた場合は、時計を合わせ直してください。
- 時計設定後、本体モニターに時刻を表示させるには、**[時計表示]**を押します（約5秒で表示は消えます）。

時刻の24時間/12時間表示を切り換える

1 左記「時計を合わせる」の手順2で、「時間表示形式」を選ぶ

2 表示形式を選ぶ

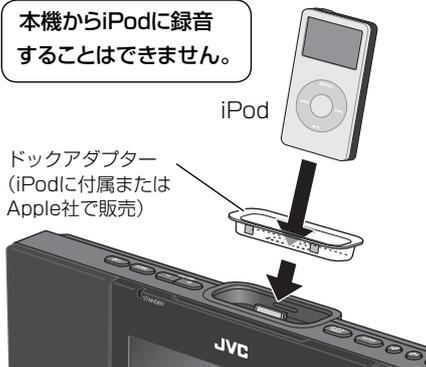
3 確定する

[決定]を押す

設定後、再生画面にもどるには**[LCD設定]**またはリモコンの各ソース（音源）ボタン、ホーム画面にもどるには本体の**[SOURCE]**を押します。

iPodを再生する

iPodを接続する

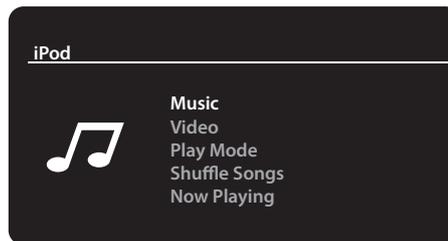
本機からiPodに録音することはできません。

- iPodを接続するときは、ドックアダプター(iPodに付属またはApple社で販売)を使用してください。
  - iPodの機種(iPod nano 第6世代など)によってはドックアダプターが不要な製品もあります。
- iPod用ドックからドックアダプターを取りはずすときは、指の爪や先の細いものをスロット部にかけてドックアダプターを引き上げてください。その際には、爪を傷つけたり、ドックの端子を破損しないように気をつけてください。

- iPod用カバーやアクセサリーを装着している場合は、それらを外してから接続してください。
- iPodはしっかりと差し込んでください。
- iPodについては**24**ページもご覧ください。

対応iPod

Made for(対応iPod)	音楽	ビデオ
iPod nano(第3、第4、第5、第6世代)	○	○
iPod nano(第2世代)	○	—
iPod nano	○	—
iPod touch(第2、第3、第4世代)	○	○
iPod touch	○	○
iPod classic	○	○
iPod video(第5世代)	○	○

- iPodの最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。

再生する

再生が始まり、iPodのメニュー画面が表示されます。

一時停止する	再生中に[**iPod ▶/II**]を押す
曲を選択する	[▶▶I]または[I◀◀]を押す
早送りする	[▶▶I]を押しつづける
早戻しする	[I◀◀]を押しつづける

メニューの操作

メニュー項目を選択する

前の項目にもどるには、[◄]を押す

- 表示されるメニューはiPodの種類によって異なります。
- iPod touchの接続中に設定やアプリケーションの操作を行うときは、次のようにiPod touchで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選択する
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

iPodの映像を見る

1 メニュー画面から「Video」→項目を選ぶ
- 表示される項目はiPodによって異なります。

2 再生するファイルを選び、[決定]を押す

再生モードを選ぶ

現在選ばれている再生モードが「Play Mode」の下の行に表示されます(例:Shuffle songs)。

シャッフル再生

1 メニュー画面から「Play Mode」→「SHUFFLE」を選ぶ

2 設定を選び、[決定]を押す

ALBUM	現在のアルバム内の曲をシャッフル再生する
SONG	iPod内の全曲をシャッフル再生する
OFF	キャンセル

リピート再生

1 メニュー画面から「Play Mode」→「REPEAT」を選ぶ

2 設定を選び、[決定]を押す

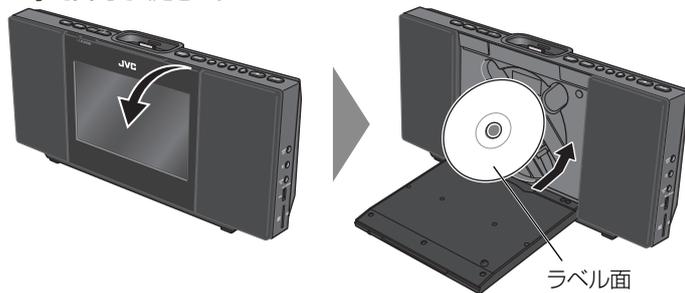
ALL	iPod内の全曲をくり返す
ONE	現在の曲をくり返す
OFF	キャンセル

再生中の曲情報情を確認する

1 メニュー画面から「Now Playing」を選び、[決定]を押す
アルバム名、歌手名、曲名が表示されます。

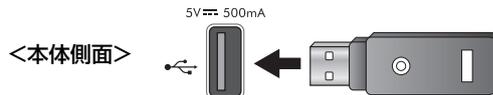
DVD・CD/USB機器/SDカードを再生する

ディスクを入れる

本機前面のディスプレイパネルを手前に倒して、ディスクを入れます。
- ディスプレイパネルを開いたり閉じたりするときは、本機が倒れないよう、手で支えてください。

- ディスクのラベル面を手前に向けて入れてください。
- ディスプレイパネルを閉じてから、再生してください。
- 「NO DISC」と表示されたときは、ディスクが挿入されていません。
- ディスクを入れたり出したりするときは、ピックアップレンズに触れないよう、ご注意ください。
- 再生中にディスプレイパネルを開かないでください。ディスクが回転しているため、ケガをするおそれがあります。

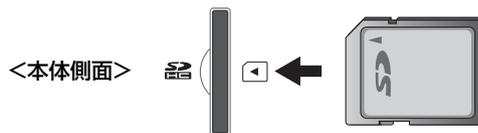
モニターについてのご注意
- ディスプレイパネルを開くときは、モニターを机や床などに打ち付けてキズが付かないよう、手を添えてゆっくりと開いてください。

USB機器を接続する

<本体側面>

- USB機器については**24**ページもご覧ください。

対応USB機器
接続するUSB機器はUSBマスストレージクラスに対応し、Microsoft® Windows Media Player® で音楽ファイルを管理できるものに限ります。
独自ソフトで音楽ファイルを管理するデジタルオーディオプレーヤーは接続できません。

SDカードを挿入する

<本体側面>

- SDカードを取り出すときは、SDカードをいったん押してSDカードスロットから抜いてください。
- SDカードについては**24**ページもご覧ください。

本機からディスク、USB機器、SDカードに録音することはできません。

再生する

ディスクを再生する
DVD/CD
[▶/II]

USB機器を再生する
USB
[▶/II]

SDカードを再生する
SD
[▶/II]

ディスクを一時停止する	再生中に[DVD/CD ▶/II]を押す
USB機器を一時停止する	再生中に[USB ▶/II]を押す
SDカードを一時停止する	再生中に[SD ▶/II]を押す
曲を選択する	[▶▶I]または[I◀◀]を押す • 数字ボタンを押すと、その曲から再生されます。 （数字ボタンの使い方は**6**ページをご覧ください。）
早送りする*	[▶▶I]を押しつづける • × 2、× 4、× 8、× 20と速度が変わります。
早戻しする*	[I◀◀]を押しつづける • × 2、× 4、× 8、× 20と速度が変わります。
グループを選択する（MP3/WMA/JPEGのみ）	[◀]または[▶]を押す
停止する	[■]を押す

* 通常の再生にもどすには、各ソース（音源）の[▶/II]を押します。

リジューム再生する

再生を中断した曲（またはチャプター）を記憶させることができます。次に再生したときに、中断したところから再生が始まります。
再生中に…

[■]を1回押す

- 記憶した曲（またはチャプター）を消去するには、「RESUME」表示中に[■]を押します。

オンスクリーンバーを表示する

画面表示

例: DVDビデオのとき

再生中のディスクやファイルの状態が表示されます。

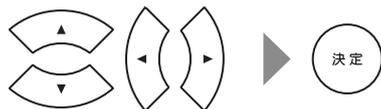
TT / CH	タイトル(1/7)(タイトル番号／総タイトル数) チャプター(1/06)（チャプター番号／総チャプター数）
TRK	曲数（1/26） (トラック番号／フォルダー中の総トラック数)
(時計)	再生時間
(音声) / (字幕)	音声言語／字幕言語
(アングル)	アングル
DD / PCM	音声形式
(リピート)	リピート
PBC	プレイバックコントロール（VCDおよびSVCD）

- オンスクリーンバーを消すには、くり返し[**画面表示**]を押します。

ディスクのメニューから再生する

<DVDビデオ>

1 メニューを表示する

2 メニューを選択する

- 前のメニューにもどるには、[**メニュー**]を押します。

<VCD/SVCDープレイバックコントロール(PBC)>

プレイバックコントロール(PBC)を使用すると、メニューからVCD/SVCDの再生ができます。

ディスクメニューの表示中に…

数字ボタンを押してメニューを選ぶ

- 数字ボタンの使い方は**6**ページをご覧ください。
- メニュー内のページを移動するには、[**▶▶|**]または[**|◀◀**]を押します。

- プレイバックコントロール(PBC)をやめるには、[**メニュー**]を押します。[**▶▶|**] [**|◀◀**]または数字ボタンで再生する曲を選択します。
- プレイバックコントロール(PBC)を再開するには、もう一度[**メニュー**]を押します。

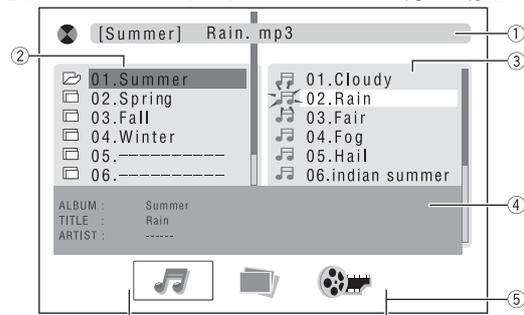
音声/字幕/アングルを切り換える

再生中に次の表中から使いたい機能のボタンをくり返し押す

ボタン	機能	対応
音 声（アングル）	音声言語または音声チャンネルの切り換え	DVDビデオ、DVD-VR、VCD、SVCD、DivXファイルに対応しています。
字 幕（タイトル）	字幕言語の切り換え	DVDビデオ、DVD-VR、SVCD、DivXファイルに対応しています。
音 声（アングル）	アングルの切り換え（長押し）	DVDビデオのみに対応しています。

画面を見ながら再生する

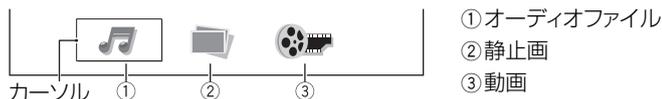
ソース（音源）を選択すると、再生コントロール画面が以下の場合に自動的に表示されます。

- 本機がMP3/WMAファイルを認識したとき
- JPEG/MPEG-1/MPEG-2/DivXファイルの再生が停止しているとき

①再生中のファイル名 / ② フォルダリスト / ③ ファイルリスト
④タグ情報 / ⑤ ファイルの種類

[▲] [▼] [◄] [►]をくり返し押してファイルを選び、[決定]を押す

- 異なる種類のファイルが記録されているときは、ファイルの種類を選択します。

ファイルの種類を選択する

①オーディオファイル
②静止画
③動画

[◄] [►]をくり返し押してカーソルを移動し、[決定]を押す

再生コントロール画面に選択した種類のファイルが一覧で表示されます。

スロー再生

一時停止中に…

[►]を押す

押すごとに以下のように再生速度が変わります。

1/2 → 1/3 → 1/4 → 1/5 → 1/6 → 1/7 → 1/8 → 再生（通常再生）

コマ送り再生

フレームごとに再生が進みます。
一時停止中に…

[▲]をくり返し押す

タイムサーチ／チャプターサーチ

オンスクリーンバー上で、再生を始める時間やチャプターを指定できます。

1 設定を表示する
[画面表示]を3回押す

2 指定したい時間（またはチャプター）の位置にカーソルを移動する
[◄] [►]をくり返し押す

3 時間（またはチャプター）を指定する
数字ボタンを押す（数字ボタンの使い方は**6**ページをご覧ください。）

4 再生を始める
手順2と手順3をくり返して、**[決定]**を押す

リピート再生

再生中に…

リピート　　リピート　：　[　リピート1　]

押すごとに以下のように表示が変わります。

リピート1 → リピートDIR → リピートALL → オフ（キャンセル）

- 表示はディスクやファイルの種類によって異なります。

リピート1	現在の曲をくり返す
リピート DIR	現在のグループをくり返す（MP3/WMA/JPEGのみ）
リピート ALL	すべての曲をくり返す

- リピート再生は、VCD/SVCDのプレイバックコントロール（PBC）再生中は使用できません。
- 「リピートDIR」は、プログラム再生中は使用できません。

ランダム再生

再生中に…

FM モード

ランダム　　ランダム　：［ オン ］

ランダム（無作為）な順序で曲が再生されます。すべての曲をランダムに再生し終わると、自動的に停止します。

- ランダム再生中は、[I◄◄]を押しても前の曲にはもどれません。
- ランダム再生をやめるには、もう一度**[ランダム]**を押して「ランダム:オフ」にします。再生中の曲から通常の再生にもどります。

プログラム再生

音楽、静止画、DVDビデオでプログラム再生できます。

1 プログラム再生するソース（音源）を再生し、停止する

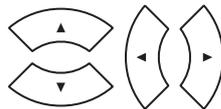
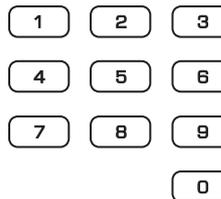
DVD/CD ►/II ／ USB ►/II ／ SD ►/II ► ■

2 プログラム設定画面を表示する

プログラム

3 曲を登録するプログラム番号を選ぶ

4 曲番号を選ぶ

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

- 数字ボタンの使い方は**6**ページをご覧ください。
- DVDビデオのときは、タイトル番号、チャプター番号をそれぞれ選んでください。

5 3と4をくり返す

- 16曲まで登録できます。
- プログラム全体を消去するには、[▲] [▼] [◄] [►]を押して「クリアー」を選び、**[決定]**を押します。

6 プログラム再生を始める

プログラムした順序で再生が始まります。

- [DVD/CD ►/II] [USB ►/II] [SD ►/II]を押しても再生が始まります。

- プログラム再生は、DVD-VRでは使用できません。

プログラムを編集する

停止中に…

1 編集したいプログラム番号を選ぶ

[プログラム]を押して設定画面を表示させたあと、[▲] [▼] [◄] [►]を押す

- プログラムの最後に曲を追加するには、カーソルを最後の番号に合わせます。

2 左記手順4を行い、新しい曲を選ぶ

- プログラムした曲を消去するには、数字ボタンの[0]を数回押します。
- プログラム内容を消去するには、[■]を押します。

静止画(JPEGファイル)を再生する

- 静止画再生中は他のソース(音源)の音は出力できません。

1 ファイルの種類を静止画にする

再生コントロール画面(14ページをご覧ください)上で[◄] [►]をくり返し押して静止画を選択し、[決定]を押す

再生コントロール画面に静止画ファイルが一覧で表示されます。

2 ファイルを選ぶ

再生コントロール画面に選択したファイルがサムネール表示されます。

- 数字ボタンでも選べます。(数字ボタンの使い方は6ページをご覧ください。)
- フォルダを選ぶには、[◄]を押して画面左のフォルダリストにカーソルを合わせ、[▲][▼]と[決定]を押します。

3 再生を始める

スライドショーが始まります。ディスク/USB/SDカード内のすべての画像を再生したあと、停止します。

- [DVD/CD ►/II] [USB ►/II] [SD ►/II]を押しても再生が始まります。
- 静止画のリピート再生やランダム再生も可能です。(15～16ページをご覧ください。)
- スライドショーを一時停止するには、[DVD/CD ►/II] [USB ►/II] [SD ►/II]を押します。
- スライドショーを中断してファイルを選択するには、[I◄◄] [►►I]を押します。

画像を反転または回転させる

静止画再生中または一時停止中に…

[▲]	上下が反転します	[◄]	左に90度回転します
[▼]	左右が反転します	[►]	右に90度回転します

- [決定]を押すと通常の表示にもどり、スライドショーが再開されます。

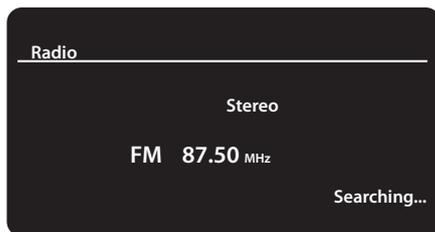
FM放送

※本機はAM放送には対応していません。

放送局を選ぶ

1 [FM/AUDIO IN]を押して「FM」を選ぶ

2 選局する

（長押し）

自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

- 選局を途中で止めたいときは、もう一度[◄] [►]を押します。
- くり返し押すと、周波数が0.1 MHzずつ変わります。

放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

※最大20局まで記憶させることができます。

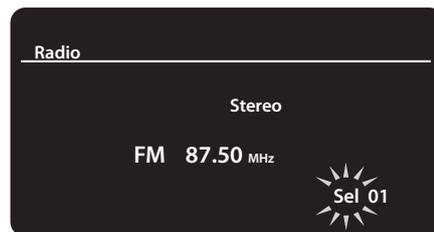
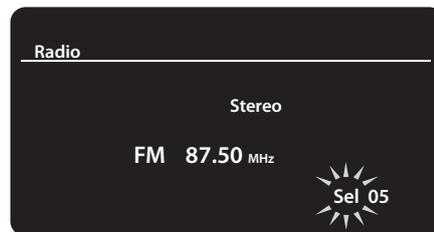
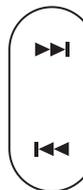
プログラム （長押し）

自動的に放送局を選局しはじめ、プリセット番号に登録します。

- 受信できるすべての放送局を選局し終えるか、20局まで登録されると選局が止まります。

放送局を手動で記憶させる（マニュアルプリセット）

1 記憶させたい放送局を受信中に、プリセット番号を表示させる

プログラム

2 記憶させたい番号を選ぶ

3 **選択した番号に放送局を登録する**

プログラム

「Save XX」(XXはプリセット番号)と表示されます。

• 番号を選択してから5秒以内に押してください。

記憶させた放送局を呼び出す

[▶▶I]または[I◀◀]を押す

FM放送をモノラル受信する

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、モノラル受信に切り換えると聞きやすくなることがあります。

FM モード
ランダム　Mono ◀─▶ キャンセル(表示なし)

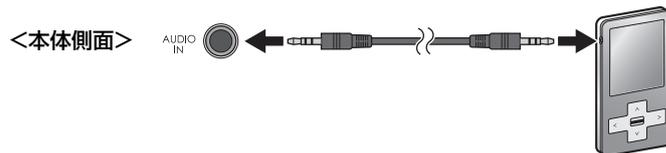
• モノラル受信時(Mono)は、音声が聞きやすくなりますが、ステレオ効果はなくなります。
• ステレオ受信にもどすときは、**[FMモード]**を押して、「Mono」を消灯します。

外部機器

外部機器を接続する

ステレオミニプラグコード(市販品)で外部機器を本機に接続します。

• 接続する前に、本機および外部機器の音量を小さくしてください。

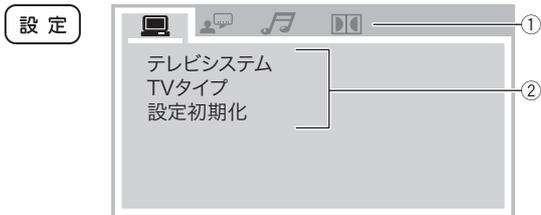
<本体側面>

再生する

[FM/AUDIO IN]をくり返し押して、「AUDIO IN」を選び、接続している外部機器を再生します。

• 外部機器に付属の取扱説明書もご覧ください。
• 接続した外部機器の音量が小さすぎる場合、外部機器の音量を大きくしてください。

項目を設定する

ソース(音源)が「DVD/CD」、「USB」または「SD」のときだけ使用できます。

1 メニューを表示する

① メニュー / ② メニュー内の項目

- 再生中は、一時停止します。

2 項目を選ぶ

3 決定する

- メニューを閉じるには、もう一度**[設定]**を押します。

セットアップメニュー一覧

____(下線部):初期設定

表示	設定項目	設定内容
	テレビシステム	接続した外部モニターのテレビ方式を選びます。 **NTSC**、**PAL**または**AUTO**
	TVタイプ 16:9 4:3 LB 4:3 PS	接続した外部モニターに適した設定を選びます。 **4:3 PS (パンスキャン)** 4:3のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます。(ディスク/ファイルがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります。) **4:3 LB (レターボックス)** 4:3のテレビ用。横長の映像は上下に黒い帯が表示されます。 **16:9** 16:9の映像専用のワイドテレビ用。4:3の映像は左右に黒い帯が表示されます。
	設定初期化	セットアップメニューの設定を初期値にもどします。

表示	設定項目	設定内容
	OSD	設定画面に表示される言語を選びます。 **英語**または**日本語**
	オンスクリーン	DVDビデオのメニューの言語を選びます。 **英語**または**日本語**
	音声言語	ディスクに収録された音声を選びます。
	字幕言語	ディスクに収録された字幕を選びます。
	DIVX[R]VOD	DivXの登録コードを表示します。
	ダウンミックス	DVDのマルチチャンネル音声を再生した場合の音声出力方式を選びます。 **LT/RT** サラウンド音声を加えた音声を出力します。 **ステレオ** ステレオ音声のみ出力します。

表示	設定項目	設定内容
	ナイトモード	大きな音の強さを減らし、静かな音のレベルを上げる設定をします。 **オン**または**オフ**
	ダイナミックレンジ	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえかたの差を補正します。（ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオのみ） **FULL**、**6/8**、**4/8**、または**2/8** FULLは補正の効果が大きくなり、数値が下がるにつれて効果が小さくなります。 **OFF** 効果を切ります。

音質/タイマーを設定する

音質を調節する

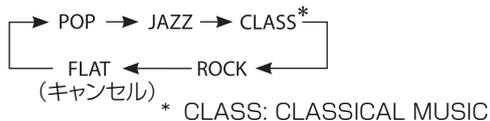
重低音を強める

HBS ON ←→ HBS OFF（キャンセル）

サウンドモード

お好みのサウンド効果を選択します。

→ POP → JAZZ → CLASS* → ROCK → FLAT（キャンセル）→

* CLASS: CLASSICAL MUSIC

おやすみタイマーを使う

設定した時間（単位:分）が経過すると、自動的に電源が切れます。

押すごとに以下のように表示が変わります。

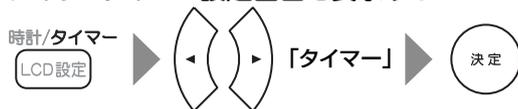
スリープ 10 → スリープ 20 → スリープ 30 → …… → スリープ 90 → スリープ オフ（キャンセル）

- 数字は電源が切れるまでの残り時間（単位:分）です。
- おやすみタイマーの残り時間を確認するには、残り時間が表示されていないときに**[スリープ]**を1回押します。

デイリータイマーを使う

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

- あらかじめ時計を設定しておいてください（**9**ページをご覧ください）。
- デイリータイマーを設定する前に、あらかじめ再生したいソース（音源）を準備してください。

1 デイリータイマー設定画面を表示する

設定項目が表示されます。

2 タイマーの内容を設定する

以下の各項目を設定します。

タイマーオン	タイマーの開始時刻
タイマーオフ	タイマーの終了時刻
ソース	再生するソース（音源） • 「AUDIO IN」は選択できません。

①設定する項目を選択する

②選択した項目の設定を開始する

③設定する

- 時刻（「時」「分」）を設定する：［▲］または［▼］を押し、［**決定**］を押す
- ソース（音源）を設定する：［►］または［◄］を押し、［**決定**］を押す
  - 「FM」を選択したときは、「FM チャンネル」で［►］または［◄］を押してプリセット番号を選択します
- 設定内容を修正するには、手順①にもどり設定し直します。

3 デイリータイマーを「入」にする

時計表示
タイマー　（長押し）

インジケーターが点灯します。

- デイリータイマーを解除するには、［**タイマー**］をもう一度長押しして、インジケーターを消灯します。

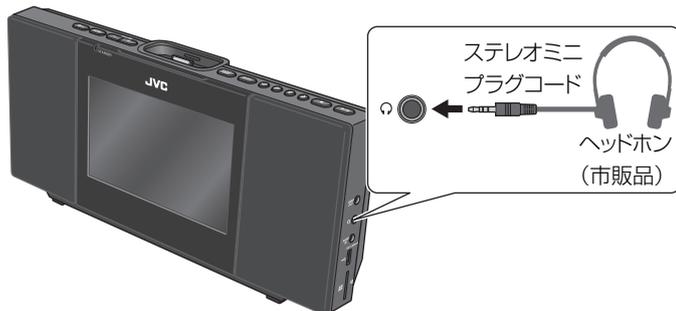
4 電源を切る

STANDBYランプが点滅します。

- 電源が入ったままではデイリータイマーは動作しません。

ヘッドホンを使う

ヘッドホン（市販品）のステレオミニプラグを 端子に接続します。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

ヘッドホンを使うときのご注意:
ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前には、必ず音量を最小にしてください。

iPodについて

- iPodを抜き差しするときは、あらかじめ本機の電源を切ってください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
- 本機のコネクター部分に直接さわったり、物を当てたりしないでください。破損の原因になります。
- iPodは、まっすぐ抜き差ししてください。
- 本機の電源が入っている間、iPodは充電されます。
- 本体ディスプレイに表示される情報はiPodの種類により異なります。
- iPodの種類により、動作が異なることがあります。
- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  - iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。
    <http://www.apple.com/jp/>

USB機器/SDカードについて

- USB機器は、停止状態で取り外してください。
- USBハブは使用しないでください。
- USB機器の容量は4GB以下を推奨します。
- USB機器のセキュリティ機能は、解除してください。
- ソース（音源）が「USB」になっているときは、USB機器に電源供給および充電されます。USB機器によっては、ソース（音源）が「USB」になっていても充電されない場合もあります。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USB機器によっては、本機が認識できないことがあります。

- SDカードスロットにSDカード以外のものを挿入しないでください。
- ひびが入ったり変形しているSDカードは使用しないでください。
- SDカードを本機から取り出すときは、必ず再生を停止してください。データの損傷の原因となることがあります。
- SDカードを挿入するときは、SDカードの向きをご確認ください。SDカードの向きが正しくないと、本機からの取り出しができないことがあります。
- miniSD™/microSD™ カードを本機に挿入するときは、かならずSDアダプターをお使いください。
- SDカードは32GBまで対応しています。

- USB機器/SDカードの再生について
  - 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
  - USB機器/SDカードのなかには、本機で再生できないものがあります。また、本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル(著作権保護されたファイル)などは再生できません。
  - 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
  - USB機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみを認識します。
  - 先に作成したフォルダから順に再生します。フォルダ内では先に記録した曲から順番に再生します。
    - 記録のしかたによっては、順番が異なることがあります。
    - フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。

お手入れについて

ディスクの取り扱いとお手入れ

ディスクケースから出すとき

入れるとき

- ディスクにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプディスク(特殊形状のディスク)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- 使用後はケースにもどしてください。
- ケースに入れるときに、ディスクの表面を傷つけないように気をつけてください。
- 直射日光や高温多湿をさけてください。
- ディスクをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ

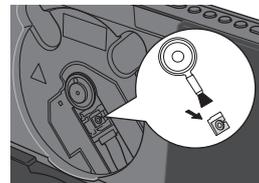
連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

本体の掃除

- パネルの操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとからからぶきをしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

ディスクピックアップレンズの掃除

レンズにゴミがついたままにしていると、映像や音質の不具合の原因となります。
市販のブロワーなどで、レンズからゴミを取り除いてください。

再生できるディスク/ファイル/機器について

- 本機で再生できるディスク/ファイルは以下のとおりです。
  - 音楽CD(「COMPACT disc」のロゴのあるディスク)
  - VCD/SVCD(「COMPACT disc DIGITAL VIDEO」のロゴまたは「SVIDEO CD」のロゴのあるディスク)
  - 音楽CD(CD-DA)、VCD、またはSVCDフォーマットのCD-R/CD-RW
  - CD-R/CD-RW(フォーマットはISO 9660 Level 1またはLevel 2)/DVD-R/DVD-RW/+R/+RW(UDF Bridgeフォーマット)のMP3/WMA/JPEG/MPEG1/MPEG2/DivXファイル
  - DVD(「DVD VIDEO」のロゴのあるディスク)
  - DVDビデオフォーマットのDVD-R/DVD-RW/+R
  - DVD-VRフォーマットのDVD-R/DVD-RW
  - USB機器、またはSD/SDHCカード(最大転送速度は2 Mbps)のMP3/WMA/JPEG/MPEG1/MPEG2ファイル
- DVDプレーヤーやDVDディスクにはリージョン番号があります。本機では下記のリージョン番号のディスクのみ再生可能です。

  - 再生できないリージョン番号のDVDディスクを入れると、「リージョンコード･エラー」と表示されます。
- DVD-RAM、CD-I(CD-I Ready)、Photo CDなどは再生できません。ノイズが発生し、スピーカーを傷めることがあります。
- SACD、DRM方式のファイルなどは再生できません。
- DVD-VRのCPRM(著作権保護技術)には対応していません。
- 本機では「パケットライト方式」でフォーマットされたディスクは再生できません。
- すべてのディスク、ファイル、機器において、再生を保証しているわけではありません。
- DVDビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた+Rディスクが再生できます。本体ディスプレイには「DVD」と表示します。
- 傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で、ディスクが再生できないことがあります。同じような理由から、ファイル名が正しく表示されないことがあります。
- DVDロゴは、DVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

- デュアルディスクの非DVD記録面は「コンパクトディスクデジタルオーディオ」規格に準拠していません。本機でデュアルディスクの非DVD記録面を再生することはおすすめしません。
- 本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の2つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。
- 本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式(PAL等)用のDVD/ビデオCDも、NTSC方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)
- 映像ソフトは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。ボタン操作が無効の場合、本体ディスプレイに「キー操作無効」と表示されます。
- MP3/WMA/JPEGファイルについて
  - 本機では拡張子が<.mp3>または<.wma>のMP3/WMAファイルが再生できます。
  - 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。
  - 本機はディスク1枚、USB機器1台またはSDカード1枚あたり、130グループと999曲まで認識できます。

- ディスク/ファイルの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- メディアに記録されているグループやファイルの数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3/WMA/JPEGファイルのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、ファイル名が正しく表示されません。
- MP3/WMA/JPEGファイルのメニュー画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。
- 静止画を含んだMP3/WMAファイルは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、正確な経過時間が表示されないことがあります。
- MP3/WMAファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbps で作成されたファイルを推奨します。
- MP3iおよびMP3PROファイルには対応していません。
- WMA-DRMには対応していません。
- 本機ではベースライン方式のJPEGファイルが再生できます。モノクロのJPEGファイルは再生できません。
- 本機ではDCF(Design rule for Camera File System)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGファイルが表示できます(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)。
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したファイルは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGファイルなどの動画やJPEGファイル以外の静止画(TIFFなど)および音声付き画像は再生できません。
- JPEGファイルの解像度は「640 ピクセル×480 ピクセル」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、「8192 ピクセル× 7680 ピクセル」を超える画像は表示できません。

• MPEG1/MPEG2 ファイルについて
  - ストリーム構造はMPEG システムストリーム規格またはMPEGプログラムストリーム規格に合致している必要があります。
  - 最大解像度は「720 ピクセル× 576 ピクセル」(25fps)および「720 ピクセル× 480 ピクセル」(30fps)をお勧めします。
  - 「352 × 576」「480 × 576」「352 × 288」(25fps)および「352 × 480」「480 × 480」「352 × 240」(30fps)の解像度も推奨します。
  - プロファイルとレベルは、MP@ML(Main Profile at Main Level)、SP@ML(Simple Profile at Main Level)またはMP@LL(Main Profile at Low Level)である必要があります。
  - オーディオストリームは、MPEG1 Audio Layer-2、MPEG2 Audio Layer-2 またはドルビーデジタル(MPEG2 ファイルのみ)規格に合致している必要があります。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。またはビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)からも最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

[以下の処置をしても正しく動作しないときは]

本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっています。万一、ボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。

	症状	原因/対策
共通	電源が入らない。	• 電源コードの接続を確認してください。
	設定の途中で操作が取り消されてしまう。	• 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。
	リモコンから本体を操作できない。	• リモコンと本体のリモコン受光部との間を遮らないようにしてください。 • リモコンの電池を新しい電池に交換してください。
	音声が聞こえない。	• ヘッドホンをはずしてください。 • 音量を調節してください。
	音声の音質が悪い。	• 端子や、ディスクピックアップレンズを掃除してください。
iPod	本体ディスプレイに「iPod」と表示されているのにiPodが再生できない。	• iPodを充電してください。
	iPodの映像がテレビに正しく表示されない。	• iPodの「TV信号」の設定を「NTSC」にしてください。 • テレビやモニターの入力切換を確認してください。
ディスク/USB機器/SDカード	再生できない。	• ソース(音源)を「DVD/CD」、「USB」または「SD」にしてください。 • 結露しています。電源を入れて2～3時間待ってから使用してください。 • ディスクの文字のある面を手前に向けて入れてください。 • 「パケットライト(UDF形式)」で録音されたディスクは再生できません。 • ディスクをファイナライズしてください。 • ディスクピックアップレンズを掃除してください。(**25**ページをご覧ください) • USB機器が正しく接続されているか、またはSDカードが正しく挿入されているか確認してください。 • セキュリティ機能付きのUSBは再生できません。(**24**ページをご覧ください) • 独自のソフトで作成した音楽ファイル(AACファイルなど)は再生できません。

	症状	原因/対策
ディスク/USB機器/SDカード	再生できない。(続き)	• ディスク、USB機器またはSDカードにMP3/WMA/JPEGファイルが入っていません。 • MP3/WMA以外の音楽ファイルは再生できません。
	MP3/WMAのグループやファイルが意図したように再生できない。	• ディスク:再生順は、グループやファイルを録音した書き込みソフトで決まります。 • USB機器またはSDカード:再生時は、先に作成したフォルダから順に再生します。フォルダ内では先に記録した曲から順番に再生します。
	ディスク、USB機器またはSDカードからの音声が途切れる。	• 汚れや傷のあるディスクは、清掃するか交換してください。 • 正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。 • 本機の電源を切り、USB機器を接続し直す、またはSDカードを挿入し直してください。 • 大きな音量で使用すると、振動により音飛びすることがあります。音量を下げてください。
	テレビやモニターに画像が表示されない。	• ビデオコードを正しく接続してください。(**4**ページをご覧ください) • テレビやモニターの入力切換を確認してください。
	テレビの画像が乱れる。	• 「テレビシステム」の設定を、お使いのテレビに適した設定にしてください。(**20**ページをご覧ください)
FM ラジオ	雑音が多く放送が聞きづらい。	• アンテナを調節し直すか、本機の設置場所を変えてください。 • 本機の電源を切り、入れ直してください。 • 放送をモノラル受信にして聞いてみてください。(**19**ページをご覧ください)
外部機器	外部機器からの音声が聞こえない。	• ソース(音源)を「AUDIO IN」にしてください。 • 本機と外部機器の接続を確認してください。 • 外部機器の音量を大きくしてください。
タイマー	デイリータイマーが作動しない。	• デイリータイマーは電源が切れているときのみ動作します。電源が切れているか確認してください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力:	3 W (1.5 W + 1.5 W) (JEITA THD 1 %/4 Ω)*
AUDIO IN入力端子:	125 mV/47 kΩ
ヘッドホン出力端子:	ステレオミニ(φ 3.5 mm)
ビデオ出力端子:	コンポジット

FMチューナー部

受信周波数:	76.0 MHz ~ 90.0 MHz

DVD/CDプレーヤー部

ワウフラッター:	測定限界以下
対応ファイル形式:	**26**ページの「再生できるディスク/ファイル/機器について」をご覧ください。

USB 部

仕様:	USB 2.0 フルスピード規格対応
対応機器:	USB マスストレージクラス機器
ファイルシステム:	FAT16, FAT32
USB出力電源:	DC 5 V ⎓ 500 mA
対応ファイル形式:	**26**ページの「再生できるディスク/ファイル/機器について」をご覧ください。

SDカードスロット部

対応機器:	SD、SDHC
ファイルシステム:	FAT16, FAT32
対応ファイル形式:	**26**ページの「再生できるディスク/ファイル/機器について」をご覧ください。

iPod 部

iPod 出力電源:	DC 5 V ⎓ 500 mA
接続方式:	アナログ

共通

ディスプレイ:	7型ワイド液晶ディスプレイ (800 × 480画素)
スピーカー:	1ウェイバスレフ型
スピーカーユニット:	8 cm x 2
インピーダンス:	4 Ω
電源電圧:	AC 100 V(50 Hz/60 Hz 共用)
消費電力:	28 W(電源入時) 0.50 W 以下(電源待機時)
映像カラー設定:	NTSC
寸法:	幅 364 mm × 高さ 170 mm × 奥行き 105 mm
質量:	約 2.3 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

* はJEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

【出張修理専門】のご相談窓口	
出張修理受付センター	**(0800)800-9928**（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は(045)453-2960
	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12

都府県名	窓口名	ＴＥＬ	所在地
		北海道	
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
	旭川S.T.		
	北見S.T.		
	釧路S.T.		
	函館S.T.		
		東北	
青森	青森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問合せは青森S.S.にて承ります。	
岩手	水沢S.T.	お問合せは仙台S.C.にて承ります。	
秋田	秋田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
	大館S.T.	お問合せは秋田S.S.にて承ります。	
	横手S.T.		
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.T.	お問合せは仙台S.C.にて承ります。	
	酒田S.T.		
福島	郡山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
		関東・甲信越	
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	長野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
	松本S.T.	お問合せは長野S.S.にて承ります。	
群馬	前橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	木更津S.T.	お問合せは千葉S.C.にて承ります。	
茨城	水戸S.T.	お問合せは柏S.C.にて承ります。	
神奈川	横浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F
	平塚S.T.	お問合せは横浜S.C.にて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
お客様サポートセンター		(045)939-7320	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル3F
山梨	甲府S.T.	お問合せは八王子S.C.にて承ります。	
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F
	大田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 (株)ケンウッド八王子事業所A棟1階
		東海・北陸	
岐阜	岐阜S.T.	お問合せは名古屋S.C.および金沢S.S.にて承ります。	
静岡	静岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
	沼津S.T.	お問合せは静岡S.S.にて承ります。	
	浜松S.T.		
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室
	豊橋S.T.	お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
三重	三重S.T.	お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
石川	金沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
富山 **福井**	富山S.T.	お問合せは金沢S.S.にて承ります。	
	福井S.T.		
		近畿	
京都 **滋賀**	京都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪	大阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
	堺S.T.	お問合せは大阪SCにて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
和歌山	和歌山S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
	田辺S.T.		
奈良	奈良S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
兵庫	神戸S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
	姫路S.T.		
	福知山S.T.		
		中国・四国	
岡山	岡山S.S.	(086)243-1566	岡山市北区野田五丁目17-19
広島	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
山口 **島根** **鳥取**	松江S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
香川 **高知**	高松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛媛	松山S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
	宇和島S.T.		
徳島	徳島S.T.	お問合せは高松S.S.にて承ります。	
		九州・沖縄	
福岡 **佐賀**	福岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
	久留米S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
長崎 **大分**	長崎S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
	大分S.T.		
熊本	熊本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F
宮崎	宮崎S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F

(1110)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト（出張修理拠点）の略称です。

●ビクター製品についてのご相談窓口　お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター	(0120)2727-87（フリーダイヤル）	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
		(045)450-8950	〒221-0022	横浜市神奈川区守屋町3丁目12